



普通科 人文社会 132班

Z世代の大予言～次、流行るモノ～

班員 松本みなみ 甲斐菜乃葉
池田悠希 高橋暁空

指導者 岩室貴詞先生
コーチ 水永正憲様

研究の動機

流行りを予測することで、無駄な消費や過剰な資源の浪費をおさえることにつながると思ったから。

研究の目的

この研究を通して物流の流れを掴む力を身につけることで、将来、社会にとって有用な人材となり社会に貢献できる人材になること。

先行研究

469人のZ世代が来年のトレンドを予測！
<https://shibuya109lab.jp/article/241205.html>

研究方法

- ・インターネットで昔流行ったものについて調べる。
- ・昔の経済状況と現在の経済状況を比較してみる。
- ・文献調査(論文など)
- ・chatGPTの使用実態(何の目的で一番使われているのか)を調べる。

必要な道具

タブレット 本

参考文献

2025年の世界
～見えない未来の考え方～
<https://openai.com/ja-JP/index/how-people-are-using-chatgpt/>
ChatGPTの利用実態 (1月4日閲覧)

仮説

- ①生成AIとAR、VRを活用した想像を仮想空間に落とし込むアプリ
- ②現在流行っているchatGPTで使用の多いものに特化したAIが流行ると考える。

結果

- ①延岡にあるVRが体験できる施設に行ったり、インターネットで調べたりしたところ、いろいろな機械が必要でお金もかなりかかることや現在あまり需要が高くなないことから一般家庭に広まっていくとは考えにくい。
- ②ChatGPTの会話の約4分の3は、実務的な助言や情報収集、文章作成に関するもの。文章の下書きや計画立案、プログラミングなどが多い。

考察

文章の下書きや計画立案、プログラミングに特化したAIなどが流行ると考える。現在chatGPTは仕事で使われることが多くなっている。使われて学習を重ねていくことで、今後、画像を生成することや、文を書くことなど、とある一つの事に関して特化したAIが誕生すると考えられる。

謝辞

私たちの研究に関わってくださった皆様、本当にありがとうございました。